



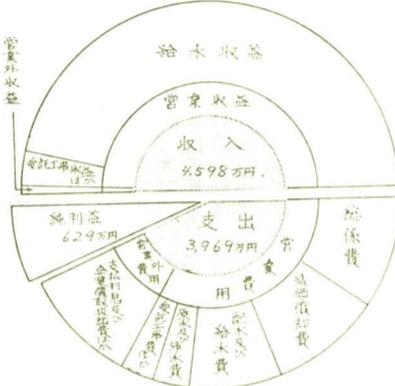
43年4月9月の水道事業あらまし

拡張工事などすすめる

水道局では、昭和42年4月1日から9月30日までの水道事業会計の概況を公表しましたが、つぎに42年度決算を中心にして43年度上半期のあらましをお知らせします。

42年度決算

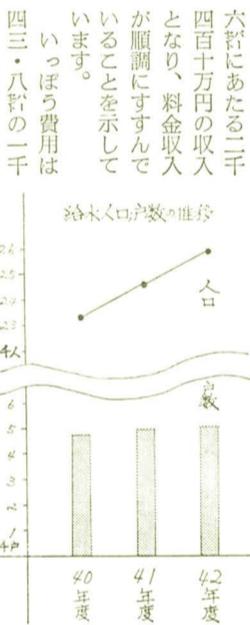
水道事業は、42年4月から地方公営企業法の適用を受け、一般行政とは区別され、運営が行なわれてきましたが、こんどはじめての決算状況がまとまりました。内容については議会の決算特別委員会で審議中です。昭和42年度中に実施した事業には、配水管の布設、不感メーターの取り替えなど、つぎのようなものがあります。



まずと、差し引き六百二十九万四千九百七十六円が42年度の純利益となりました。前年度引継金あわせて六百三十一万九千六百円が42年度末処分利益剰余金となり、このうち、三百二十五万九千五百二十二円が建設改良積立金に、残り三百一十六万八千八百三十四円が建設改良積立金に充てられました。今年度償還額が七百九十二万七千五百五十三円、給水戸数は五千四百九十九戸

43年度上半期

まず、43年度水道事業における建設改良工事は、住宅がふえるに地帯の配水管布設、補助水源池の増設、市内一円の配水補助管布設、有取水量の効率を高めるため不感メーター器一千個の取り替えなどが計画されています。このうち、9月末までに実施



43年度上半期損益収支

Table showing financial data for the first half of 1943. It includes columns for 'Category' (科目), '43年度' (43rd year), '9月まで' (up to 9 months), and '対前年' (vs previous year). Rows include '給水収益' (Water supply revenue), '受託工事収益' (Contracted work revenue), 'その他の収益' (Other revenue), '原水浄水費' (Raw water purification cost), '配水給水費' (Distribution and supply cost), '業務費' (Operating expenses), '減価償却費' (Depreciation), '受託工事費' (Contracted work cost), '費用合計' (Total expenses), '企業債利息' (Corporate debt interest), and '差引' (Balance).

また、損益勘定では、水道便用料など二千四百九十九万四千円円の収入がありましたが、給水費や人件費など二千九百七十四万二千円円の費用が発生しております。これを差し引きますと、四百四十五万一千九百九十九円円の純利益を生じたこととなります。9月末における水道事業の残高勘定は、資産合計、負債・資本合計がそれぞれ二億八千六百六十九万九千九百九十九円となっております。なお、事業を行なうために借

この期間中の配水量は百三十三万六千立方メートル、このうち給水されたのは六十一万二千立方メートル、有取率は四六割になっております。一人一日あたりの給水量は百二十九リットル(一升びん)七リットル(一升)の水を使っていることとなります。また、一立方メートルあたりの給水原価は二十九円二銭、供給価格は三十三円七角八銭に なっております。

この期間中の配水量は百三十三万六千立方メートル、このうち給水されたのは六十一万二千立方メートル、有取率は四六割になっております。一人一日あたりの給水量は百二十九リットル(一升びん)七リットル(一升)の水を使っていることとなります。また、一立方メートルあたりの給水原価は二十九円二銭、供給価格は三十三円七角八銭に なっております。

42年度の決算状況は下表のとおりです。これにより、営業収益四千五百七十二万五千五百円、これに対し営業費用が三千六百三十三万九千九百九十九円となり、営業利益は一千五百八十八万九千九百九十九円、営業外収益は二百六十二万九千九百九十九円、営業外費用は九百九十九万九千九百九十九円を加減し

Table titled '42年度水道事業損益計算書' (42nd year water utility profit and loss calculation). It lists various income and expense items with their respective amounts in yen.

Table titled '貸借対照表' (Balance Sheet). It shows assets (流動資産, 固定資産) and liabilities/equity (流動負債, 資本) with their respective amounts.



読書週間 ポスター・感想文の入選者 図書館では、読書週間の行事としてポスターと感想文を募集していただきました。やく二百点の参加があり、審査の結果、次の人が入選しました。

届出が必要 最近、暖房などに石油類を非常に多く使うようになってきました。石油類の貯蔵については火災予防、延焼予防の面から消防法や市火災予防条例できびしく規制されています。ご注意願います。

火の元を点検しよう 26日から秋の火災予防運動 秋の火災予防運動が11月26日から12月2日まで行なわれます。これは、①バケツ一杯の水のくみ置き、②たばこの投げ捨てと投棄の防止、③地震のときの火の始末、の三つを重点事項として実施されます。

家庭防炎会議 火災や地震にそなえて、あなたの家でも食事のときを利用して「防炎会議」をひらき、①たばこの吸いはどうするか、②火の取り扱いはどうするか、③火の始末はどうか、④火の発生場所から出火したときどうするか、⑤避難は安全にできるか、⑥空気が乾燥し強い風のとおりはどうか、⑦消火器具の取り扱いはどうするか、⑧消火器具の取り扱いはどうするか、⑨消火器具の取り扱いはどうするか、⑩消火器具の取り扱いはどうするか、⑪消火器具の取り扱いはどうするか、⑫消火器具の取り扱いはどうするか、⑬消火器具の取り扱いはどうするか、⑭消火器具の取り扱いはどうするか、⑮消火器具の取り扱いはどうするか、⑯消火器具の取り扱いはどうするか、⑰消火器具の取り扱いはどうするか、⑱消火器具の取り扱いはどうするか、⑲消火器具の取り扱いはどうするか、⑳消火器具の取り扱いはどうするか、㉑消火器具の取り扱いはどうするか、㉒消火器具の取り扱いはどうするか、㉓消火器具の取り扱いはどうするか、㉔消火器具の取り扱いはどうするか、㉕消火器具の取り扱いはどうするか、㉖消火器具の取り扱いはどうするか、㉗消火器具の取り扱いはどうするか、㉘消火器具の取り扱いはどうするか、㉙消火器具の取り扱いはどうするか、㉚消火器具の取り扱いはどうするか、㉛消火器具の取り扱いはどうするか、㉜消火器具の取り扱いはどうするか、㉝消火器具の取り扱いはどうするか、㉞消火器具の取り扱いはどうするか、㉟消火器具の取り扱いはどうするか、㊱消火器具の取り扱いはどうするか、㊲消火器具の取り扱いはどうするか、㊳消火器具の取り扱いはどうするか、㊴消火器具の取り扱いはどうするか、㊵消火器具の取り扱いはどうするか、㊶消火器具の取り扱いはどうするか、㊷消火器具の取り扱いはどうするか、㊸消火器具の取り扱いはどうするか、㊹消火器具の取り扱いはどうするか、㊺消火器具の取り扱いはどうするか、㊻消火器具の取り扱いはどうするか、㊼消火器具の取り扱いはどうするか、㊽消火器具の取り扱いはどうするか、㊾消火器具の取り扱いはどうするか、㊿消火器具の取り扱いはどうするか、